

今年もヤマユリが開花

～市庁舎隣の中央の杜で約500株につぼみを確認～

野田市役所に隣接する「中央の杜」（約4.7ヘクタール）は、ヤマユリ、キンラン、ギンランなど、町中では珍しい希少な植物が生息している雑木林である。毎年、春から夏にかけて、森林浴を楽しみながら、さまざまな花も楽しめる貴重な平地林として、市は散策路を整備するなどして保全している。

この「中央の杜」で、今年6月29日にヤマユリの開花を確認、7月6日現在で15～25センチメートルほどの大きさの50輪が咲いている。つぼみを持つ株数を確認したところ481株を数え、つぼみが膨らんでいるものもあることから、今週末から来週にかけて見ごろになる見込み。

また、中央の杜の日光街道側には、約220株のアジサイが植えられており、今が見ごろを迎え、色とりどりの風景を楽しむことができる。

【三ツ堀里山自然園のヤマユリの開花状況】

三ツ堀里山自然園においても、中央の杜の開花に引き続き、近くヤマユリが開花する見込みである。園内の北側園路沿いの約70株につぼみを確認しており、7月の中旬頃には見頃になる見込み。

【山ユリ】ユリ科の多年草。近畿以東の太平洋側の低山に生え、栽培もされる。葉は互生（ごせい）し、披針形（ひしんけい）。初夏、茎頂（けいちょう）に香りよい大型漏斗状花（ろうとじょうか）を横向きに数個つける。花は白色で、内側に赤褐色の斑がある。自生地により箱根百合、鳳来寺百合、吉野百合・叡山百合などとも呼ぶ。／大辞林(三省堂)より

●ヤマユリの保護について

平成27年7月1日に施行した「野田市野生動植物の保護に関する条例」では、市内の野生動植物の保護をはかり、豊かな自然環境を将来の子ども達に継承することを目的に、道路、公園、広場その他の公共の場に生息又は生育しているヤマユリを「採取若しくは損傷してはならない」と定め、保護している。

問合せ＝みどりと水のまちづくり課・内線 2692

野 田 市